

子ども目線に立つ「まなざし」が 生みだす学びと表現

2025年
12/26(金)
10:15-16:30
@北とぴあ

詩とアートの実践は、子どもたちの「感じる」「考える」「つくる」をいかに育むのか。本会では、石井順治・ひぐちけえこによる新著『詩とアートが“ほんとうのたべもの”になるとき』（世織書房）の刊行を機に、授業実践・映像・対話を通して「子ども目線に立つまなざし」の意味を探究します。授業記録の視聴、学校種を超えた対話、そして著者対談を通じて、教育における〈学びと表現〉をともに考えましょう。

登壇者



東海国語教育を学ぶ会 顧問

石井 順治



画家

ひぐち けえこ



広島大学 特命助教

宮島 衣瑛



第1部 授業をふりかえる

- 授業とレッスンについて
- 授業動画視聴
- グループ協議

第2部 アートを味わう

- ワークショップ（ひぐちけえこ）

第3部 全体協議

- 学校種を超えたトークセッション（宮島衣瑛）

第4部 朗読

- 物語〈こうすけと『やまなし』〉
 - 東海国語教育を学ぶ会 会員・他

第5部 対談

- 石井順治×ひぐちけえこ

詳細情報

イベント日時	2025年12月26日（金） 10:15～16:30（09:45 開場）
場所	北とぴあ 第二研修室 東京都北区王子1-11-1
対象	教育関係者・大学生・院生
参加費	一般 1,000円 学生 500円
お問い合わせ	info@inpw.jp
お申し込み	公式Webサイトより

